

青森産技 プレスリリース

AITC Press release 2018.6.18



あおもりの未来、技術でサポート

地方独立行政法人 青森県産業技術センター
農林総合研究所

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。

地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合には、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、『(地独)青森県産業技術センター』又は、当センターの略称『青森産技』をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

しけんけんきゅうじょうしよちようかい

農林総合研究所野沢総括研究管理員が全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰を受賞することになりました。

農林総合研究所野沢総括研究管理員は、「寒冷地における水稻乾田直播栽培の実用化」の研究業績が認められ、平成30年度全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰を受賞することになりました。表彰式は6月21日に東京都内で行われます。

記

1 全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰について (主催：全国農業関係試験研究場所長会)

全国農業関係試験研究場所長会に属する試験研究場所に勤務する研究員の顕著な業績を表彰してその功労に報い、併せて場所の研究活力を高め、農業技術の発展に資することを目的とし、今年度は全国で12名が表彰されます。

2 受賞内容

- (1) 受賞名 平成30年度全国農業関係試験研究場所長会研究功労者
- (2) 受賞事例 「寒冷地における水稻乾田直播栽培の実用化」
- (3) 受賞者 農林総合研究所 総括研究管理員 野沢 智裕 (のざわ ともひろ)

3 表彰式

- (1) 日時 平成30年6月21日(木) 15:30～
- (2) 場所 三会堂ビル 9階 石垣記念ホール (東京都港区赤坂1-9-13)
- (3) 出席者 青森県からは受賞者1名

4 業績

野沢総括研究管理員は、寒冷な青森県には乾田直播は適さないという考えが一般的であった平成12年頃、早期播種を行うことで寒冷地の気象条件にマッチングさせた水稻乾田直播栽培技術(耕起)を実用化させました。また、愛知県で開発された不耕起V溝直播技術を青森県に適応させ、出芽・苗立ちの安定化や播種床造成に移植栽培と共通する農業機械が使えることなどから、本栽培法は省力・低コストと収量・品質を両立できることを明らかにしました。

さらに、技術の普及に当たっては、多くの直播栽培に関する研修会の講師を務め、技術の普及と定着を促進しました。その結果、青森県の水稲乾田直播栽培の普及割合は東北一を保っています。

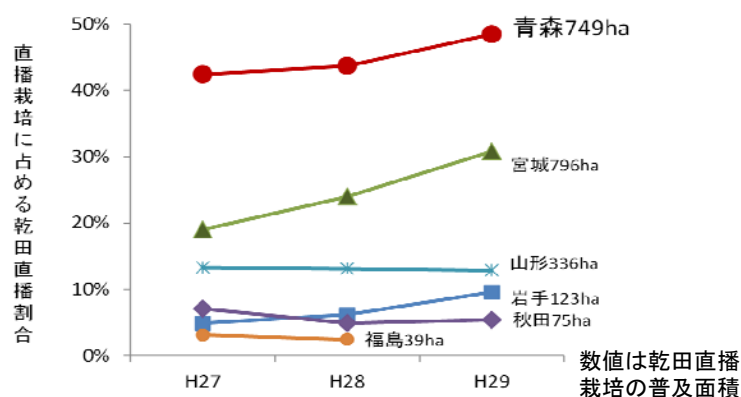
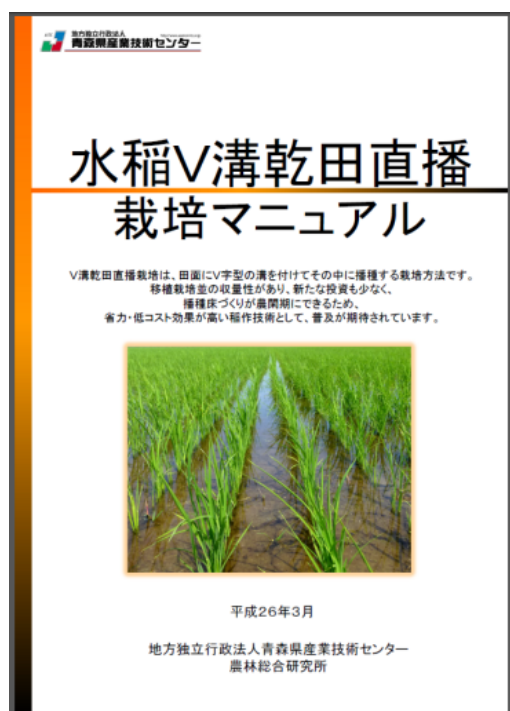
生産現場の担い手不足と高齢化の中、実用化した技術は、今後の寒冷地水稻生産に有用なものと認められました。

参 考 情 報

寒冷地における水稲乾田直播栽培の実用化

農林総合研究所 総括研究管理員 野沢智裕

- 実績① 寒冷地北部において普及困難とされていた水稲乾田直播栽培について、寒冷地の気象条件にマッチングさせて実用化した。
- 実績② 水稲V溝乾田直播栽培の栽培マニュアルを作成し、青森県内各地で水稲V溝乾田直播栽培技術の実証試験を実施した。
- 実績③ 研修会や技術講習会などをととして、技術の普及と定着を促進した。
- 実績④ 青森県の水稲乾田直播栽培の普及割合は東北一を保っている。



生産現場の構造的変化(人手不足と高齢化)に加え、低価格米の需要が増加してきている。実用化した技術は、これに応えるもので、今後の寒冷地水稲生産に有用なものである。

問 い 合 せ 先

農林総合研究所

- 住 所 : 青森県黒石市田中 8 2 - 9
- 連絡先 : 0172-52-4346 (代表)
- 担当者 : 企画経営監 清藤 文仁 (せいとう ふみひと)